

# 九州まちづくり移動大学構想

## はじめに

地方の活性化および再生は今や焦眉の課題である。しかし、現実の本質的問題は以下の3点にあると思われる。

- ① まちづくりの実践と理論(研究者)と政策の遊離
- ② 産官学民のネットワーク力不足
- ③ 有能な地域コーディネーター・まちづくりリーダーの不足

そこで私はこの3つの問題点を同時に解決する「九州まちづくり移動大学」構想を提案したい。この構想はもちろん全国で展開できる構想であるが、まずはまとまりのよい九州地区で実験的に実施するのが現実的であると考えられる。またこの構想はまちづくりや「地域再生運動」(社会運動)として全国に普及する可能性を秘めている。

## 1. 理念・目的

- ① 地域住民を中心とする全員参画のまちづくり
- ② 地域の自然・景観・資源を生かした創造的個性的まちづくり
- ③ 道州制を視野にいれた観光九州の実現
- ④ 創造性を開発し地域コーディネーター(まちづくりリーダー)の育成
- ⑤ リーダーを養成しながら具体的な地域の問題の解決ビジョンを創り上げる
- ⑥ 相互研鑽、ともに学びあう、異質の交流
- ⑦ 研究・教育・理論・実践の統合
- ⑧ 地平線を開拓する一固定概念、しがらみにとらわれず挑戦する
- ⑨ 生涯学習・生涯研究・生涯現役

## 2. 組織・運営体制

- ① 本部組織は当面建設コンサルタンツ協会九州支部に置き、理事会と本部事務局が運営する
- ② 産官学民による理事会を組織し、開催地を公募する(公募パンフレット参照)
- ③ 応募があれば、事務局が現地に赴き開催可能性について慎重に審査のうえ理事会で決定する
- ④ 開催地・テーマ・内容カリキュラムが決定すれば、参加者を公募する(事例パンフレット参照)
- ⑤ 開催地地域のリーダー中心の運営体制(現地実行委員会)を組織し、学長は地域のトップリーダー(自治体、産業界、NPOほか)が務める
- ⑥ 事務局長は開催地地域のまちづくりリーダーが務め、現地事務局はリーダーのもとに置く
- ⑦ 将来はNPO法人化をめざす
- ⑧ 当面、九州各地の県市町村地域の応募、誘致に従い年2回実施する
- ⑨ 運営については原則赤字をださないよう努力する、黒字になったときは地域に還元する

## 3. プログラム・カリキュラム内容

- ① 開講期間は3泊4日～6泊7日とし、地域の安い宿泊施設またはテントによる合宿制とする
- ② 宿泊地及び教室は地域が提供する(有料も可)
- ③ 多様な実践的講師と実践的カリキュラムにする
- ④ 講師は地域の講師と全国レベルの講師で構成する(ボランティア精神のある方)
- ⑤ カリキュラムは地域から出された明確なテーマ(問題意識)を設定し、KJ法を応用した「カード式発想法」を活用して現状把握分析フィールドワークを中心に据えたものにする

### 3泊4日の事例

- 1日目 開校式・オリエンテーション・基調講演・地域リーダーによる問題提起発表・交流会
- 2日目 グループワークによる問題点・課題整理(図解)、現地実態調査計画・インタビューマップ作成
- 3日目 フィールドワーク(1日) 夜 現状分析図解作成(グループワーク)
- 4日目 ビジョン・解決策・構想計画図解・提言作成 修了式

## ⑥ 定員・入学資格・修了証

定員は地域の宿泊定員に応じ、50名から100名までとする

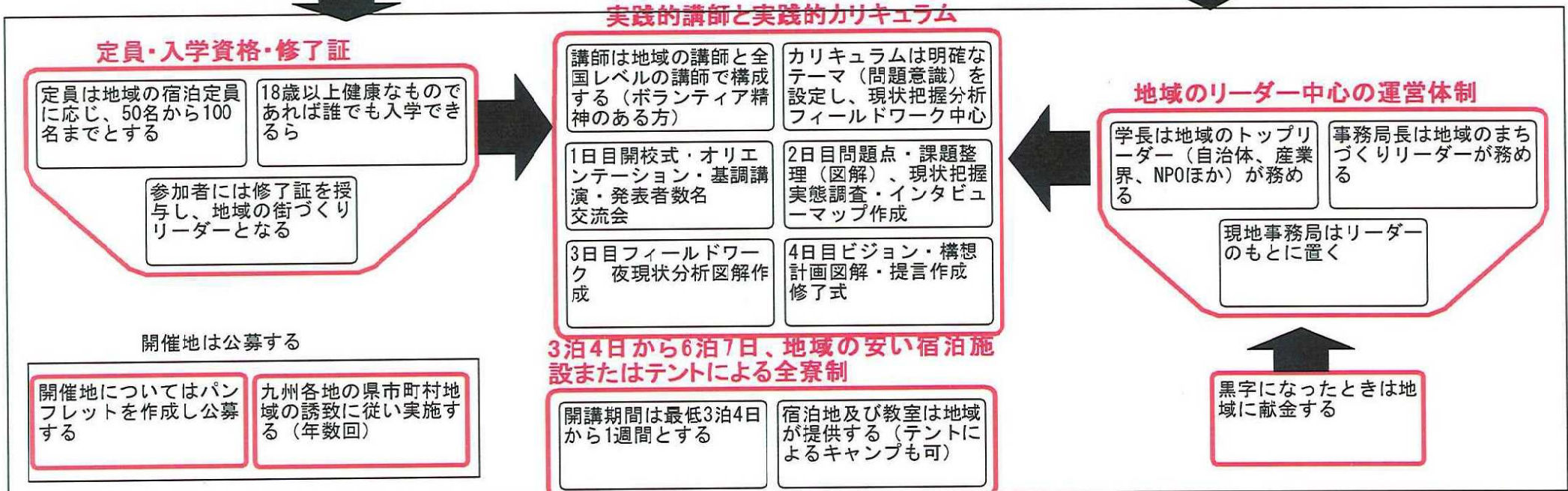
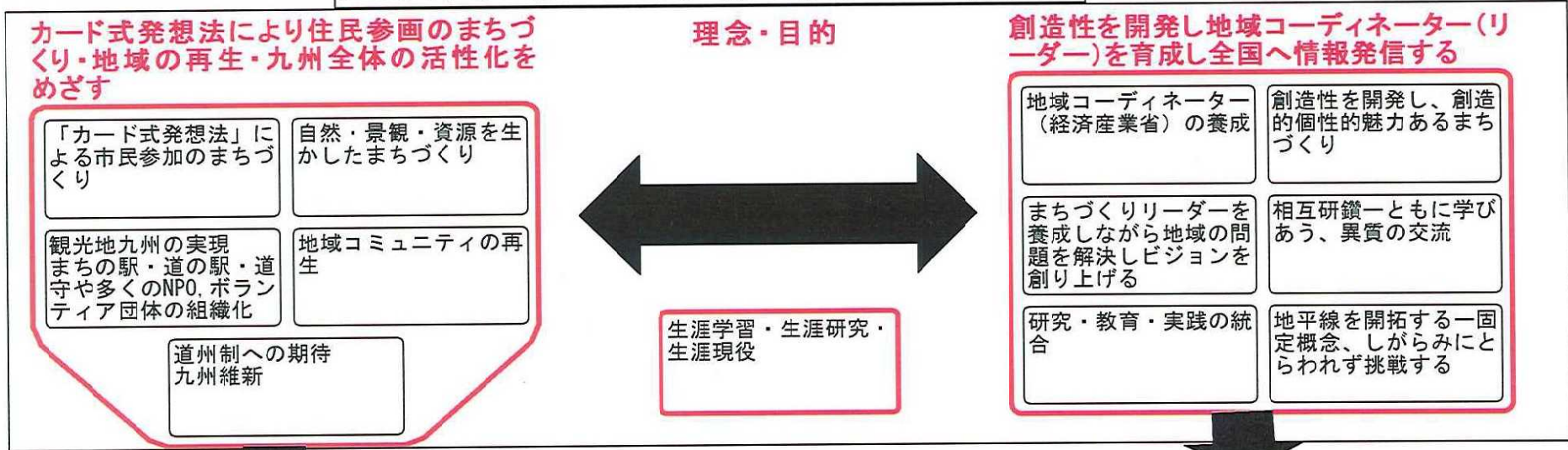
18歳以上健康なものであれば誰でも入学できる

参加者には修了証を授与し、地域のまちづくりリーダーとして認定する

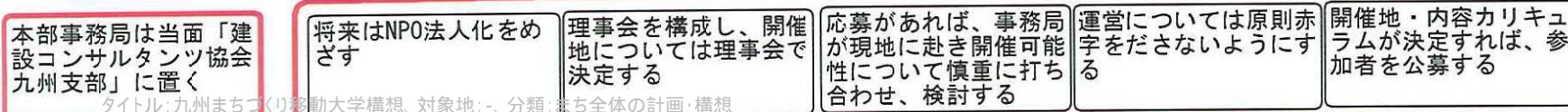
- ⑦ 修了者は同窓会組織をつくり末永く情報交換会を行う



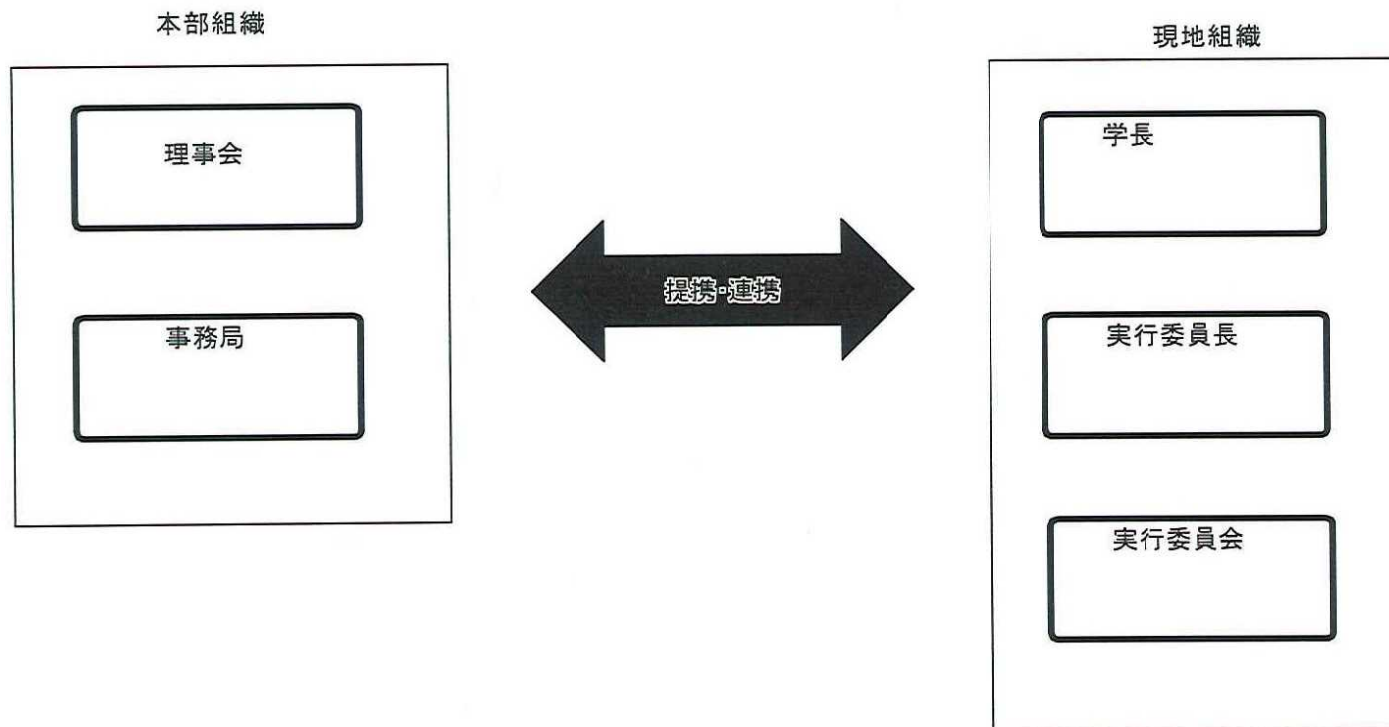
# 九州まちづくり移動大学構想



本部組織は当面建設コンサルタンツ協会九州支部に置き理事会と本部事務局が運営する



# 九州まちづくり移動大学の組織





本部事務局パンフレット案

**あなたのまちの活性化・まちづくりを応援いたします**

## 九州まちづくり移動大学を開催しませんか

九州・全国のまちづくりの専門家・実践者が一同に集い、地域住民とともに、あなたのまちに合宿（3泊4日以上）して問題点・課題を洗い出し、フィールドワーク（現状把握分析）を行い、具体的な解決策・ビジョンを提案いたします。ふるって応募ください。

### \* 応募条件及び申し込み方法

- ①地域のまちづくりに熱心で、移動大学を実施・運営するグループが存在すること
  - ②地域の課題とテーマをA4版1枚にまとめて提出してください
  - ③開催地及び宿泊施設、会場として50名～100名が必要です
  - ④開催希望時期を第3希望まで書いてください
- \*理事会で審査の結果、決定いたします。（不採用になっても次回開催の可能性もあります）

### \* 応募から決定、実施までのプロセス

1. 応募 2. 審査結果連絡 3. 本部事務局との打ち合わせ 4. パンフレット作成 5. 参加者募集 6 実施 7. 反省評価（報告書提出）終了

\* 現地準備費用は参加費の中からいたしますので原則必要ありませんが、参加者が少なく赤字になった場合は若干の負担をしていただきます。参加者が多く利益が出た場合、地域に還元いたします。

\* 申し込み・お問い合わせ先：九州まちづくり移動大学本部事務局



開催地参加者募集パンフレット案

**あなたの夢・アイデア・情熱を地域再生のために活かしてください**

# 第1回九州まちづくり移動大学

## テーマ「出水の観光開発—つると武家屋敷をどう売り込むか」

場所：鹿児島県出水市

時期：2009年2月1日～4日（3泊4日）

参加費：3～5万円（宿泊食費、テキスト授業料込み）

定員：100名（18歳以上誰でも参加できます）

プログラム：

- 1日目 開校式・オリエンテーション・基調講演・地域リーダーによる問題提起発表・交流会
- 2日目 グループワークによる問題点・課題整理（図解）、現地実態調査計画・インタビューマップ作成
- 3日目 フィールドワーク（1日） 夜 現状分析図解作成（グループワーク）
- 4日目 ビジョン・解決策・構想計画図解・提言作成 修了式



主催 九州まちづくり移動大学・出水移動大学実行委員会

協賛 出水市・商工会議所・観光協会・ロータリークラブ・青年会議所・まちの駅連絡協議会・南日本新聞ほか